



マイカー乗るまあデー11月推進キャンペーンの実施結果

ノーマイカーデーひろしま2006 ひと・環境への 思いやり

地球温暖化防止につながる行動の輪を広げるため、2005年度からノーマイカーデー運動に取り組んでいます。2006年7月から毎月22日を「マイカー乗るまあデー」と定め、一人ひとりが交通や環境問題を考え、環境にやさしい交通手段を使うよう、広く呼びかけています。2006年度の取組結果をお知らせします。

■実施概要

今年度のマイカー乗るまあデーは13日間！



取組を広くPRしました

- 毎月22日を「マイカー利用を控える日」として決めるにあたって、この日の新名称を市民の方から公募し、「マイカー乗るまあデー」に決定しました。
- チラシ、広告塔、広報番組等の様々な方法により環境にやさしい交通行動の実践を広く呼びかけました。



PRチラシ



広告塔

イベント等で啓発活動を行いました

- 取組の趣旨を広めようと、イベントでパネル展示や環境クイズなど啓発活動を展開しました。



環境の日ひろしま大会【6月】
(パネル展示、環境クイズ)



バスフェスタひろしま【10月】
(ステージでの取組PR)

マイカー乗るまあデーには公共交通利用促進策を実施！

- 広電バス・電車、アストラムラインでは、マイカー乗るまあデーに臨時便を運行しました。
- 広電電車、アストラムラインでは、マイカー乗るまあデー限定の割安な1日乗車券を販売しました。



アストラムライン割引1日乗車券
大人 900円→600円
小児 450円→300円



広電電車割引1日乗車券
大人 600円→400円
小児 300円(割引はありません)

一層の普及をめざし、11月に推進キャンペーンを実施！

- 11月は、実施日を5日間に拡大し、モニターによる取組やさまざまな連携企画を実施しました。

●多くの方がモニターに●

市内事業所の従業員や市民の方を対象に、率先して環境にやさしい交通行動を実践していただくモニターを募集し、約3,900人に登録いただきました。

モニター登録状況

市民 291人 (7%)	官公庁職員 534人 (14%)	事業所従業員(次ページ参照) 3,048人 (79%)
--------------------	------------------------	-----------------------------------

●連携企画も行いました●

市中心部の商業4施設(アクア広島センター街、紙屋町シャレオ、そごう広島店、パセーラ)とタイアップ企画などを実施しました。



■実施結果



環境：モニターのみの協力で、24トンのCO₂排出量を削減！ ドラム缶 80 本分の燃料を節約！

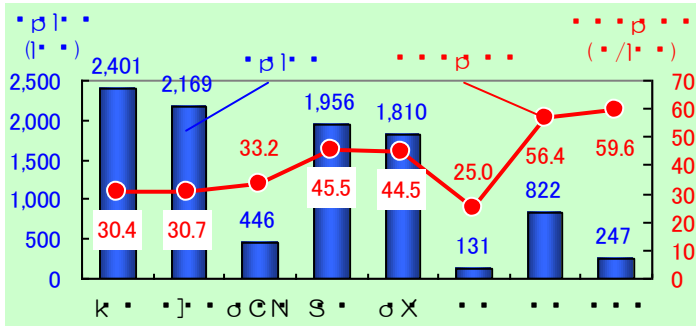
モニターアンケート結果①

11月推進キャンペーン期間（5日間）を中心に、のべ7,000人の方が、自動車利用を6,200時間控えるなど、環境にやさしい交通行動を実践していただき、その結果、二酸化炭素(CO₂)排出量が24トン削減されたとの効果が得られました。また、自動車利用の抑制により、ドラム缶80本分(1万6千リットル)の燃料が節約できました。

実践人数及び自動車利用抑制時間

モニター登録人数	3,873人
キャンペーン期間に環境にやさしい交通行動を実践したのべ人数	7,002人
キャンペーン期間に自動車利用を控えた総時間	6,194時間

代替交通手段別の利用人数及び平均利用時間



地球4周分（約16万km）の自動車利用を控えたことに相当し、

約200万円分

ドラム缶約80本分のガソリンを節約したことになります

平均速度26km/時、平均燃費10km/リットル
ガソリン125円/リットル



広域公園
ほぼ2個分

約100ha(杉9万本)の森林が1週間に吸収するCO₂量に相当します

杉1本の年間CO₂吸収量 14kg-co₂/年(268g-co₂/週)
杉1本の占有面積 12㎡/本



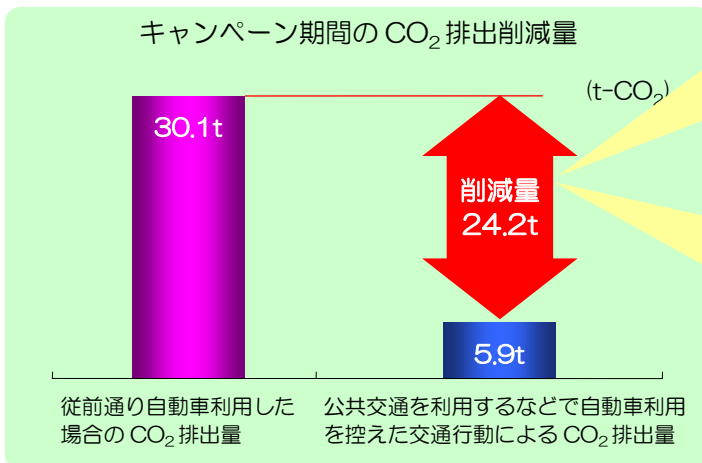
西区と南区の全世帯(13万世帯)が1日に視聴する時間分

テレビの消費電力に換算すると、約60万時間消したことに相当します

電力1kwh使用する時のCO₂排出量 0.36kg-co₂/kwh
28インチテレビ1時間の消費電力 111.9wh/時
一般家庭のテレビの平均視聴時間 4.5時間/日



キャンペーン期間のCO₂排出削減量



多くの事業所の方に参加いただきました

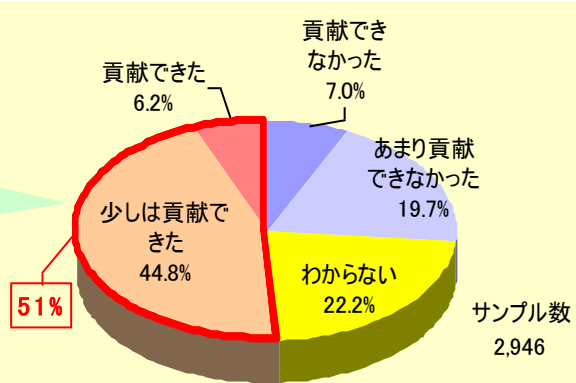
(株)安芸建設コンサルタント、朝日精版印刷(株)、(株)荒谷建設コンサルタント、エヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本(株)中国支店、(株)エネルギー・エコ・マテリア、(株)エネルギー・コミュニケーションズ、(株)エネルギー・ロジスティック、(株)可部自動車学校、(株)協和エクシオ中国支店、広成建設(株)、(株)鴻治組、産興(株)、山陽工業(株)、(株)ジェイラインサービス広島、医療法人社団一陽会 原田病院、(株)シンコー、(株)新星工業社、(株)ステージユニオン広島、(株)セノン中国支社、(株)ソルコム、(株)ソルコム広島支店、(株)損害保険ジャパン、中国エンジニアリングサービス(株)、中国企業(株)、中国計器工業(株)、中国計器工業(株)広島事業所、中国高圧コンクリート工業(株)、中国電機製造(株)、中国電力(株)、中電環境テクノス(株)、中電技術コンサルタント(株)、中電工業(株)、(株)中電工、中電プラント(株)、テンパール工業(株)、(株)東急ハンズ広島店、(株)東芝中国支社、東洋乳業(株)、飛鳥建設(株)広島支店、西日本旅客鉄道(株)広島支社、日本貨物鉄道(株)広島車両所、日本コムシス(株)中国支店、日本ペイント(株)広島工場、(株)パワー・エンジニア・アンド・トレーニングサービス、(株)日立情報システムズ中国支社、ビューテック中国(株)、広島ガス(株)、広島ガスメイト(株)、(財)広島勤労者職業福祉センター(広島サンプラザ)、(株)ひろしまケーブルテレビ、広島県信用組合、(財)広島原爆被爆者援護事業団、広島工業大学専門学校、広島高速交通(株)、社会福祉法人広島常光福祉会、広島テレビ放送(株)、広島電鉄(株)、(株)広島東洋カーブ、富士通(株)中国営業本部、平和機械(株)、訪問介護ステーション菜の花、介護老人保健施設三滝ひまわり、三菱重工業(株)中国支社、三菱重工業(株)広島製作所、三菱電機(株)中国支社、医療法人翠星会 松田病院、(株)明光堂、明治乳業(株)中国支店、(株)モルテン広島工場、(株)リーガロイヤルホテル広島、(株)旅行綜研広島営業所、医療法人和同会広島グリーンヒル病院
(参加いただいた89事業所のうち、名称掲載の了承を得た事業所のみ掲載しています) 順不同



意識：取組を通じて地球温暖化防止への貢献度を実感！ 多くの方が行動を継続しています！

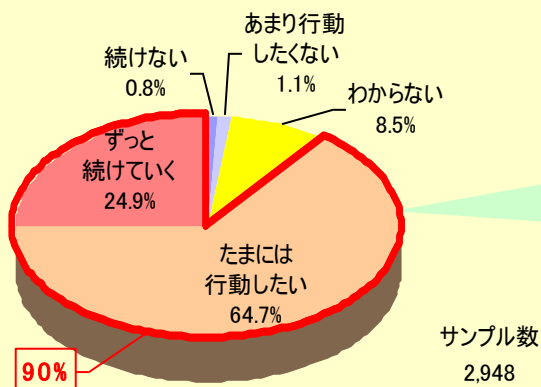
モニターアンケート結果②

今回の取組を通じて約5割の人が地球温暖化防止に貢献できたと感じています。



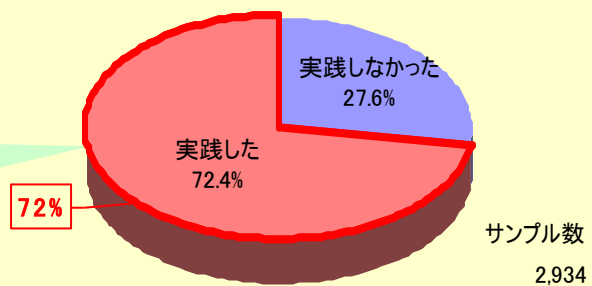
▲地球温暖化防止への貢献度に対する感想

約9割の人が、こうした取組に限らず、今後も環境にやさしい交通行動を続けたいと思っています。



▲「環境にやさしい交通行動」の継続意思

約7割の人が、キャンペーン期間後でも環境にやさしい交通行動を継続しています。



▲キャンペーン期間後の実施状況



交通：自動車交通量、渋滞長に大きな変化は見られませんでした！ まだまだ多くの方の協力が必要です！

マイカー乗るまァデー推進キャンペーン時と通常時のそれぞれの交通量、渋滞長及び公共交通機関別利用者数を調査した結果、自動車交通量、渋滞長、公共交通利用者数に大きな変化はなく、マイカー乗るまァデーに期待される効果を得ることができませんでした。

これは、市内の乗用車登録台数（約55万台^{※1}）や公共交通利用者数（約56万人/日^{※2}）に比べて、モニター応募数が約4千人と市民の一部にすぎないこともあり、交通面での効果が現われるまでの状況になっていないためと思われます。今後は、より多くの市民の方に参加いただけるような取組にしていく必要があります。

※1 平成16年度末時点の車種別登録自動車台数の乗用者と軽自動車の計。（広島市統計書）

※2 平成16年度の公共交通機関の1日当り平均利用者数。（広島市統計書）

■今後の取組について

11月推進キャンペーン期間中(5日間)でのモニターによる行動変化で24トンのCO₂排出量が削減されました。今後は、この取組を拡大し、市民全体の取組として発展させる必要があります。

取組を浸透させるためPRを強化します

≫これまでもチラシ・ポスター、ホームページ、横断幕などでPRを行ってきましたが、まだ取組の認知度が低く、広く周知できていないとは言えません。
≫多くの方に取組が周知できるようPRを強化していきます。



参加者を増やす取組を進めます

≫より多くの方に参加していただけるような環境づくりを進めていきます。
≫継続的に参加していただけるような仕組みづくりを検討します。



意識変容を図る取組を進めます

≫多くの方が地球温暖化について考え、意識が高まるように、交通と環境問題に関する情報発信や環境教育の実施などの取組を進めます。

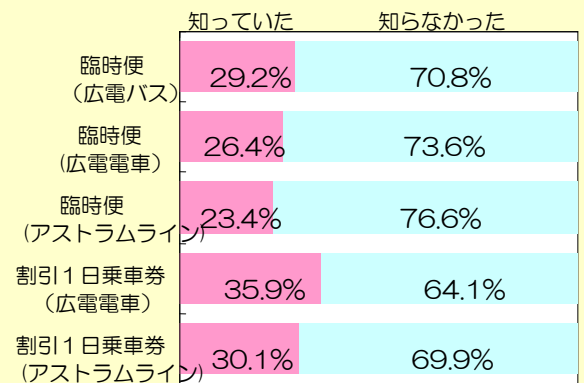


環境にやさしい交通行動の実践を促す取組を進めます

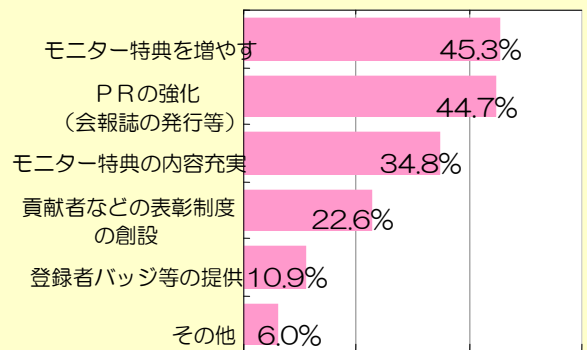
≫公共交通のサービス向上や情報提供などにより、多くの方が環境にやさしい交通行動を実践するような取組を進めます。
≫環境改善効果を個人へ継続的に配信できるようなシステムづくりを検討します。



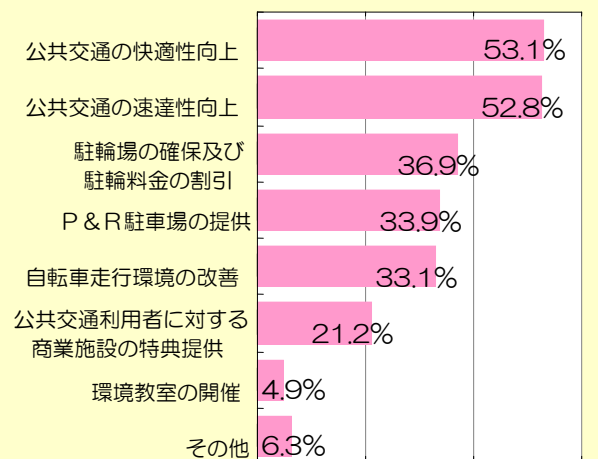
モニターアンケート調査の結果



▲キャンペーンで実施した取組の認知度



▲モニター参加者の拡大に必要なこと



▲実践促進に必要な取組

～地球のために、1日でも1時間でも環境にやさしい行動を！～

◎ノーマイカーデーひろしま実行委員会

経済産業省中国経済産業局、国土交通省中国運輸局、国土交通省中国地方整備局、環境省中国四国地方環境事務所広島事務所、広島県、広島県警、広島市、西日本旅客鉄道(株)、広島電鉄(株)、広島高速交通(株)、(株)広島県バス協会、広島商工会議所、広島環境サポーターネットワーク

<http://www.city.hiroshima.jp/koutsuu/noruma-day/>

◎この資料についての問合せ先は、

広島市道路交通局

都市交通部公共交通計画担当

TEL082(504)2384/Fax082(504)2426

E-mail koutsubu@city.hiroshima.jp